

「一期一会」の心構え

（前略）237名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは本日、歴史と伝統のある、この富士見中学校の生徒となりました。昭和22年の開校以来あまたの卒業生に受け継がれてきた文武両道の精神で、中学校生活を充実させて下さい。皆さんの学年には、学区内の4つの小学校だけでなく、全て合せると、19校の小学校出身の生徒が集まっています。そう考えると、237名の新入生が、時を同じくして、日本全国から、この富士見中学校に集うことは「奇跡」と言ってもいいほどの出会いなのだと思います。皆さんは「一期一会（いちごいちえ）」という言葉を知っていますか？漢字四文字です。その漢字を書けるという人がいるのでしょうか。入学式後に教室で担任の先生が答え合わせをしてくれれますから、楽しみにして下さい。「一期一会」は、茶道の心得を由来とすることわざです。辞書で調べてみますと、「人と人との出会いは、二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを知り得て、互いに誠意を尽くすことが大切だ」という意味であることがわかりました。

皆さんには、「一期一会」の心構えをもって欲しいと願っています。具体的には、2つのことをお願いします。1つ目は、「友達のよいところ」をたくさん見つけて下さいということです。人間誰でも、周りの人の「よくないところは、すぐに気づきます。その反面、「よいところ」を見つけるのは、案外難しいことなのかもしれません。ですから、誰もがもっている「よいところ」を見つける練習を重ね、それを認める「目」や「心」を養うことが大切なのです。パナソニックの創業者である松下幸之助さんは「人の長所が多く目に付く人は幸せである」という言葉を残しています。それは「長所（よいところ）」を認めつつ周りの人と接することで、人間関係がよくなり、自分自身の成長につながるからだということです。「友達のよいところ」を見つける練習をしましょう。

2つ目は、「ありがとう」という言葉をたくさん使って下さいということです。「ありがとう」の語源は「有り難い」つまり「有ることが難しい」ということなのだそうです。当たり前にも思えることでも、例えば、お家の人にご飯を作ってもらったり洗濯してもらったり…そういうことも実は「当たり前のこと」ではなく「有り難いこと」と捉えるべきなのです。同じように、友達が手助けをしてくれる、優しい言葉をかけてくれる…これも「有り難いこと」です。熊谷市内の全ての小中学校が取り組んでいる「熊谷の子どもたちは、これができます！」「4つの実践」に「『ありがとう』『ごめんなさい』と言う」という実践があります。これが「一期一会」の心構えにつながります。

私も含め、先生方にとっても、皆さんとの出会いは、まさに「一期一会」です。この出会いを大切にします。皆さんを全力で支援・応援します。「笑顔あふれる3年間」を一緒につくりあげていきましょう！（後略）